

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 26 年 2 月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 23 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図 2、図 3 - ）
新潟県土木部砂防課が焼山温泉（山頂の北北西約 8 km）に設置している監視カメラによる観測では、山頂部東側斜面の噴気は少なく、噴気の高さは 0 ~ 30m で経過しました。
- ・地震や微動の発生状況（図 3 - 、図 4）
今期間、火山性地震は少なく、火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図 3 - ）
GNSS 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

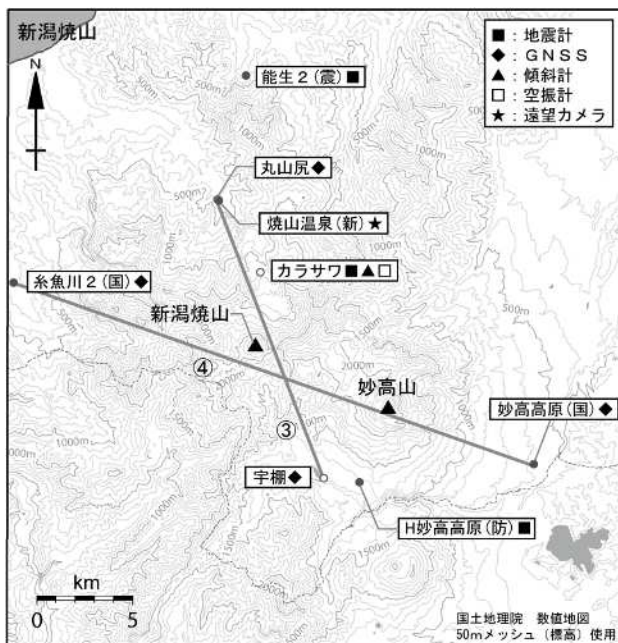


図 1 新潟焼山 観測点配置図
小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(防)：防災科学技術研究所、(震)：東京大学地震研究所、(新)：新潟県



図 2 新潟焼山 山頂部の状況
(2月24日 焼山温泉監視カメラによる)

図 1 新潟焼山 観測点配置図
GNSS 基線 は図 3 の に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 26 年 3 月分）は平成 26 年 4 月 8 日に発表する予定です。

この資料は、国土地理院、東京大学、京都大学、独立行政法人防災科学技術研究所及び新潟県のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ (標高)』『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』を使用しています (承認番号：平 23 情使、第 467 号)。

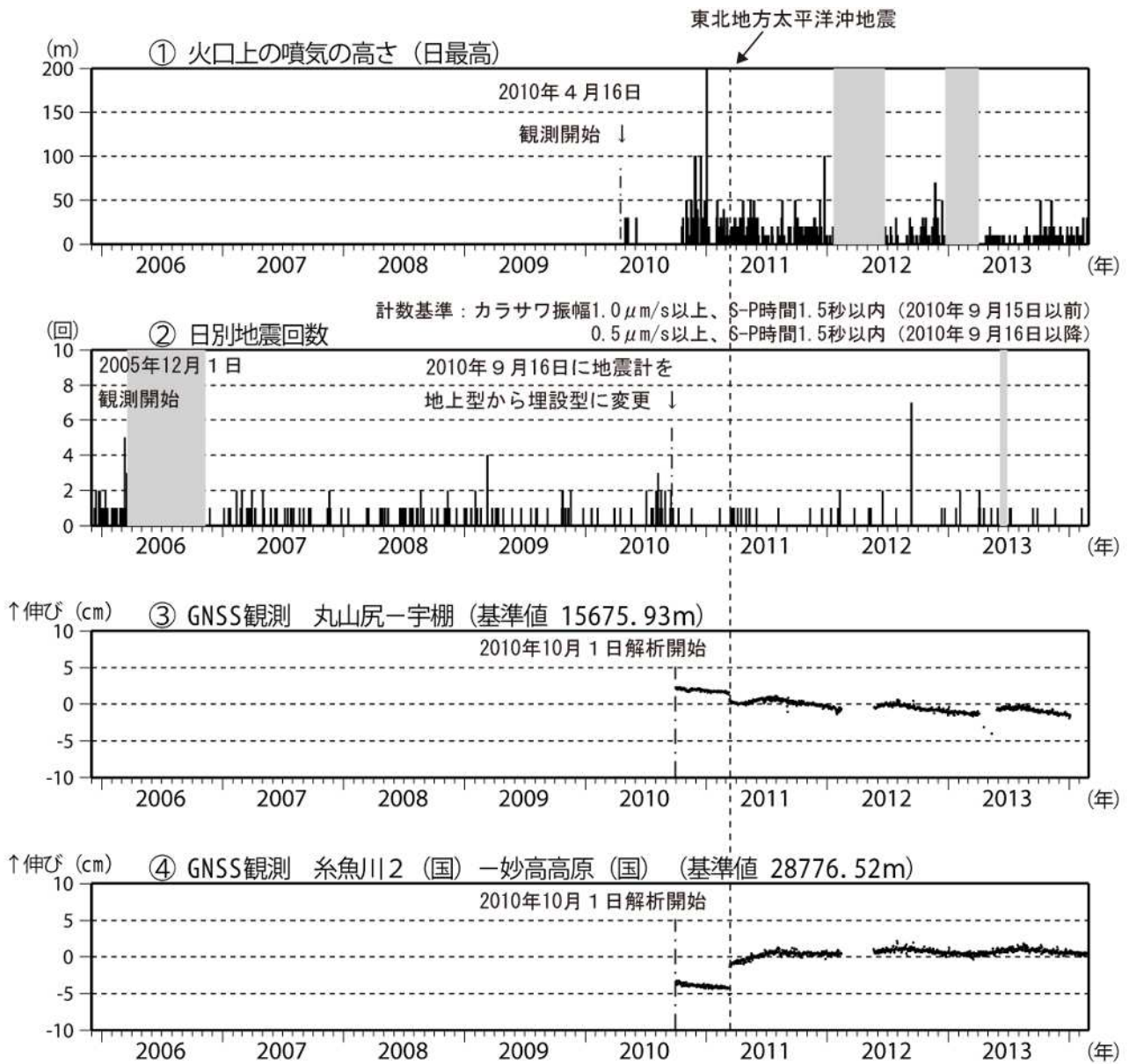


図3 新潟焼山 火山活動経過図(2005年12月1日~2014年2月28日)

- : 定時観測(09時・15時)による日別最高の噴気の高さ
 - ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- : 日別地震回数
 - ・ 図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
- : GNSS連続観測結果 (国): 国土地理院
 - ・ の基線には、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、データに飛びがみられます。
 - ・ は、図1のGNSS基線 に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を示します。

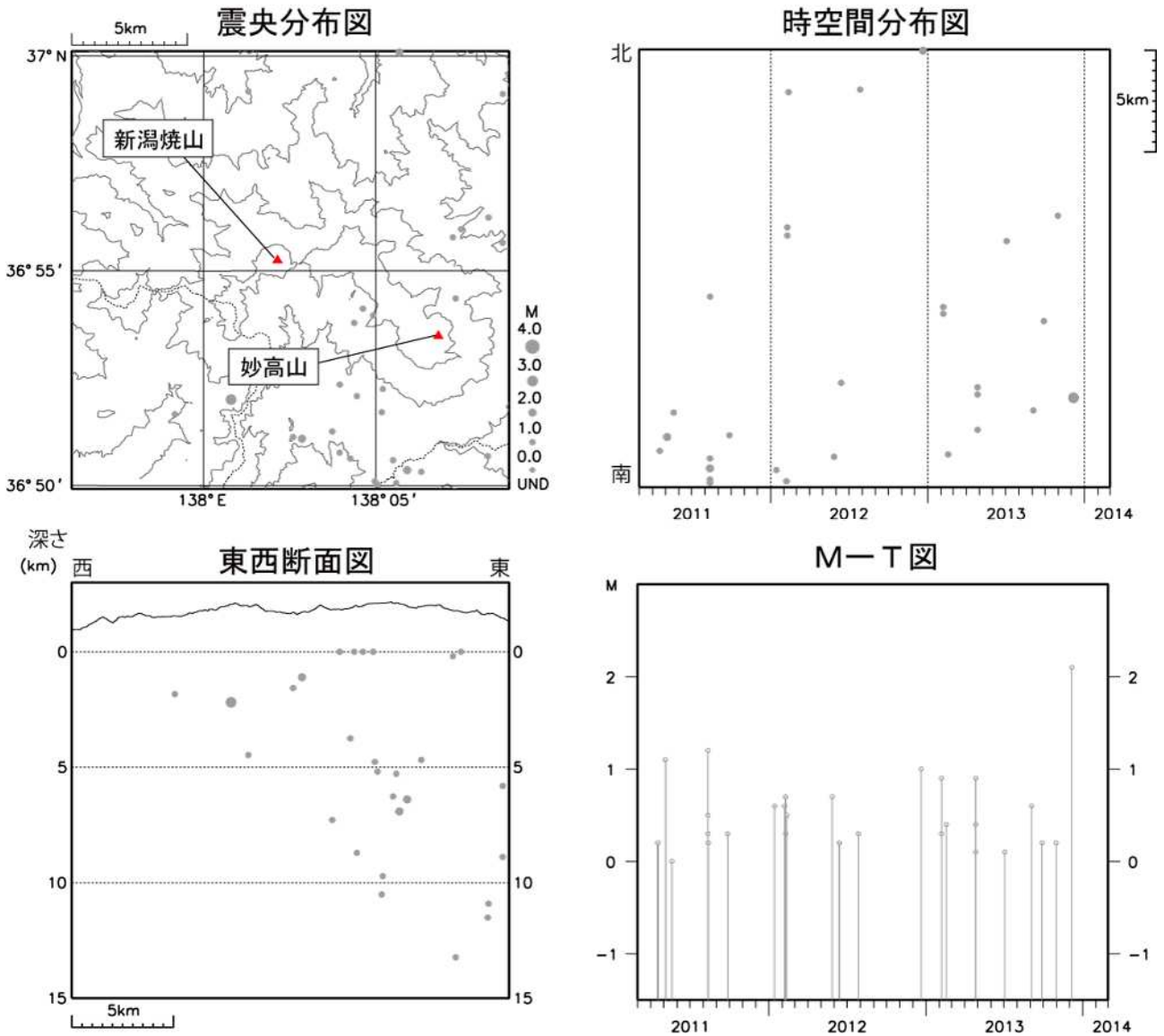


図4 新潟焼山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2011年3月1日~2014年2月28日)
 : 2011年3月1日~2014年1月31日 : 2014年2月1日~2月28日
 今期間、新潟焼山周辺で震源が決定された地震はありませんでした。
 M(マグニチュード)は地震の規模を表します。
 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。